



2025年法人事務集会

事務職員として日常業務を学び、交流深める

4月26日、法人事務集会を開催し、常勤事務職員66人が参加しました。

「コミュニケーション」とは、お互いに情報が伝わること

前年の内容「心理的安全性」、実行委員会の経



験をもとに企画・運営を行いました。

「コミュニケーション」をテーマとした、アイスブレイク、ハラスメント講義、クレーム対応のロールプレイを実施することで、事務職員としての日常業務に直結する内容を学ぶとともに、参加者同士の交流を深めました。

「クレーム」は、組織で対応する

集会の冒頭では、前年のテーマ「心理的安全性」に関するアンケート結果を報告。

各職場における心理的安全性の現状を共有し、今後の環境改善への指針としました。

第1部は、職場におけるハラスメント防止に向けて、事前に実施したアンケートをもとに産業医平井医師による講義が行われました。参加者はハ



ラスメント理解度チェックに取り組み、自身のハラスメントへの理解を再認識する機会となりました。

人間らしく生きるために
国際基準から
日本の人権を考える

5月22日（木）、地域コミュニティ棟「みみづば」にて英国エセックス大学人権センターフェローで法学博士の藤田早苗氏をお招きして「人権」と思いやりは別物」と題する講演会を開催し、88人の参加で会場を埋め尽くしました。



り、私たちは日々行使しており、呼吸みないなものだ」と強調されました。政府には人権を実現する義務がありますが、日本の人権教育では「優

しさや思いやり」が強調されて、「個人の善意」へとすり替えられていると指摘しました。

訴えることができる個人通報制度も日本では導入されておらず、冤罪の救済措置がないことを問題視し、「世界が電気のある生活をしている中、日本だけがろうそくで生活している」と例えました。

藤田氏からは、人権が保障される社会にするために私たちにできることとして、自身の著書「武器としての国際人権」の感想を投稿し、書籍がより多くの人の目に触れるようにすること、今回の講演内容を知人に伝えることと、そして藤田氏の講演を広く紹介してほしいと呼びかけました。

吉本 和人

た。第2部は、「クレーム対応」に関する個人ワークを行った後に、3人グループに分かれてクレーム対応のロールプレイを実施。解説を挟んで2回目のロールプレイでは、得られた学びを即実践することにより、対応スキルの向上に繋がりました。



告、みみはらコミュニティタウンコミュニティ棟みみづばの紹介、今年度入職した新入職員紹介を行いました。

参加者からは、「実践的な内容で学びが多かった」の声が寄せられ、アンケートでは、「本研修を他職種や本日参加していない同僚に勧めたいと思いますか?」「本研修は明日からの業務に役立ちそうですか?」の質問に多くの回答者が高い点数をつけており、研修への高い評価も得られ、事務チーム全体で理解を深められる貴重な機会となりました。

会務報告

5月度臨時評議員会〈概要〉

開催日時… 5月22日（木）午後5時30分～5時45分

◆承認事項

- みみはら在宅クリニックの開設（移転）

※5月度は法人理事会を開催しませんでした。

について承認

- 寄附行為の変更（みみはら在宅クリニックの開設（移転））について承認
- みみはら在宅クリニックの管理者について承認

鳳エリア

「まちとつながる庭づくり」いのち育む森ワークショップ

日時：7月22日（火）16:00～17:30

場所：耳原鳳クリニック 3階多目的室

参加無料

来春グランドオープンする新鳳クリニック外構の工事に伴い、緑化エリアの構想を進めています。どんな植栽をうえようか、みんなでアイデアを出し合う座談会形式ワークショップを開催します。「植物」の活動を通して誰かが癒されたり、コミュニティができたりにしています。そんな「顔が見える」活動を広め、描きたい風景を実現するための時間です。

主催：アートリンクセンター

みみはらグループ 第25回 医療介護安全大会

大会テーマ「いまこそともに いのちをまもるパートナーズ」

開催 2025年 7月12日 土 14:00～16:15

耳原総合病院 みみはらホールA+Web

記念講演 「患者安全の全体像と 医療安全全国共同行動」

講師 なが お よしまさ 長尾 能雅 先生

名古屋大学医学部附属病院 病院教授 患者安全推進部 部長

ウェビナー ID: 848 0284 5872 パスコード: 853582